

和歌山市の名所魅力向上事業(和歌山城の桜魅力向上事業)

現状

和歌山城は市民の憩いの場のみならず、外国人を含め多くの観光客が訪れる和歌山市の一大観光地となっています。平成26年の来場者数は20万人を越えました。

緑茂る虎伏山にそびえる白亜のお城は、日本三大連立式平山城の一つに数えられ、城内には時代の変遷を感じさせる時代ごとに特徴的な石垣が見られるなど、紀州徳川家の歴史をいたるところで感じることができます。

現在、和歌山城には現在約600本の桜が植えられおり、桜の時期には多くの市民や観光客が訪れ、お城やお堀と桜の織り成す景色を楽しんでいます。



地域再生計画における取組

○和歌山城周辺の汀公園に桜を植樹して、新たな桜の観光スポットを整備します。

和歌山城を背景にした桜の景観と、城内の桜との相乗効果により花見客の増加を目指します。

○和歌山城を含めた周辺の整備をすることで、桜の名所としての魅力を高め、桜のお城としての知名度のアップを目指します。

事業費 150万円

